

2016年度AEYAC若年層アニメーター—生活実態調査結果

2017年2月25日

本報告の構成

1. 調査概要
2. 回答者の基本属性
3. 調査結果
 - (1) 生活実態
 - (2) 労働条件とキャリア
4. インタビュー調査からの示唆
5. 若年層アニメーターの現状

1. 調査概要

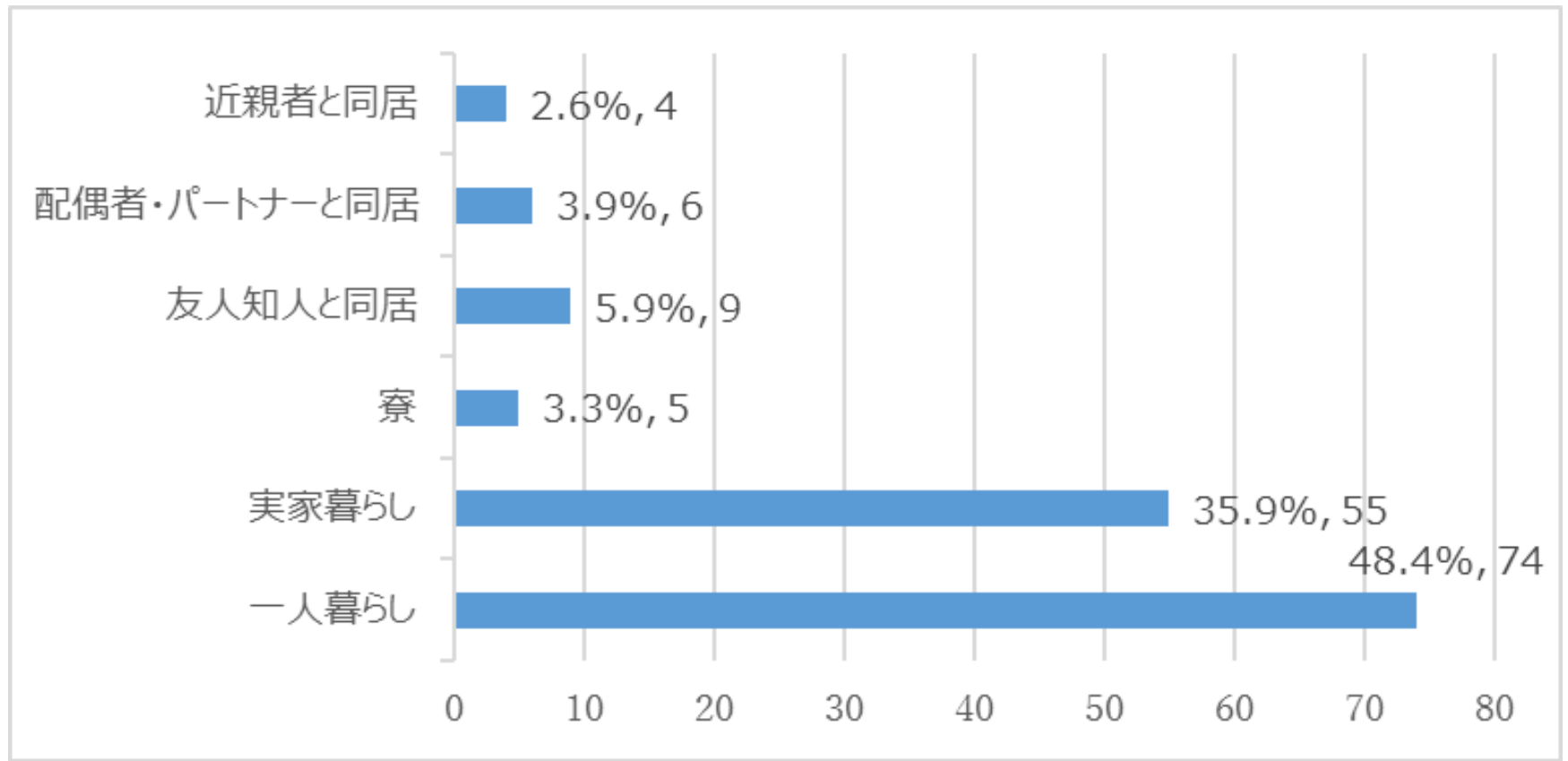
- 本調査の目的: 若年層のアニメーターの実態を多角的に捉えること。
- 経験月数36カ月以内のアニメーターを対象に、ウェブアンケート調査を実施。153名から回答をいただいた。
- 補足として、回答者のうち有志5名に対してインタビュー調査も行った。

2. 回答者の基本属性

- 年齢：20～24歳が全体の77.1%
- 性別：男性が28.8%、女性が69.9%
- 経験年数：1年目40.5%、2年目35.3%、3年目24.2%
- 最終学歴：専門学校卒52.3%、大卒36.0%
- 居住地：東京都64.1%、東京以外の関東12.4%、関西9.8%
- 勤務形態：個人事業主（スタジオ所属）が68.6%
- 給与形態：完全出来高制が46.4%

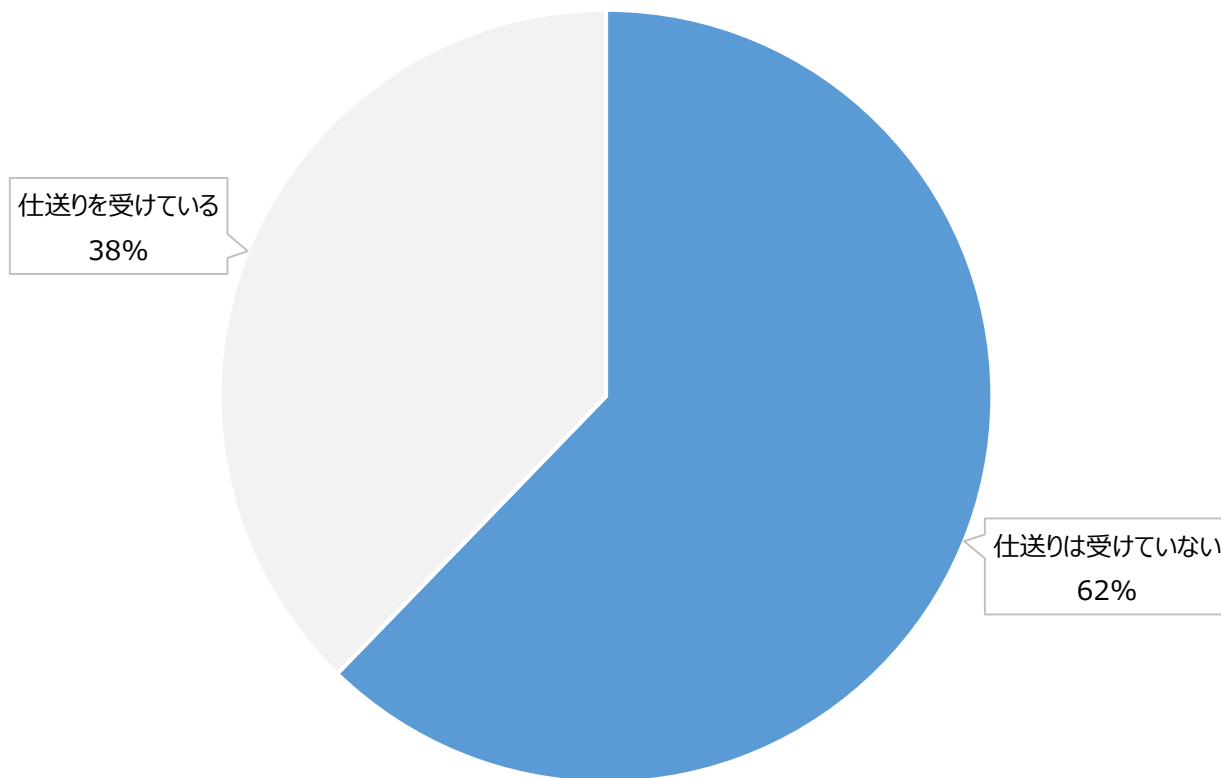
3(1). 生活実態①

居住形態



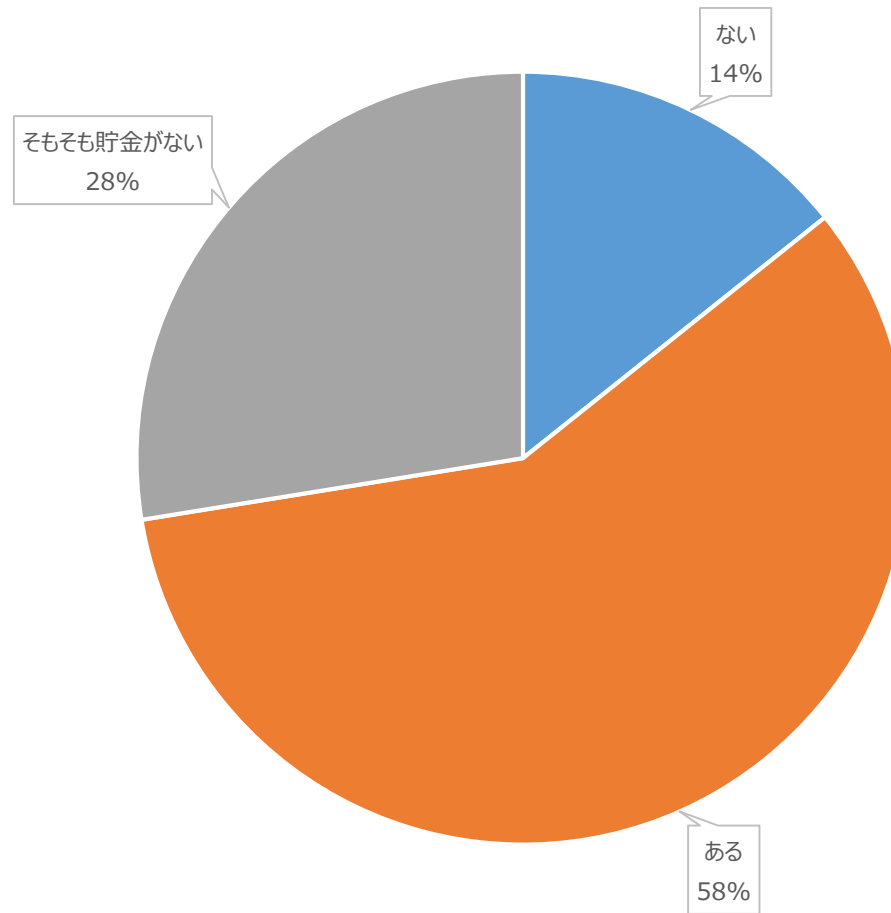
3(1). 生活実態②

仕送り



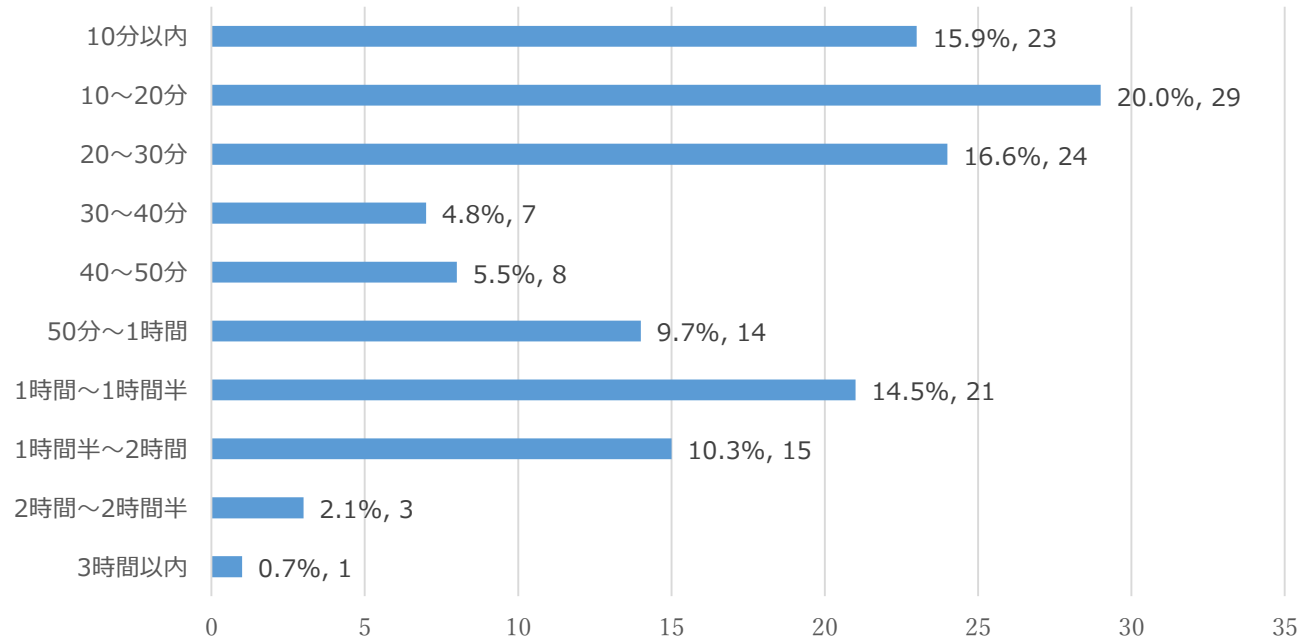
3(1). 生活実態③

貯金の切り崩し



3(1). 生活実態④

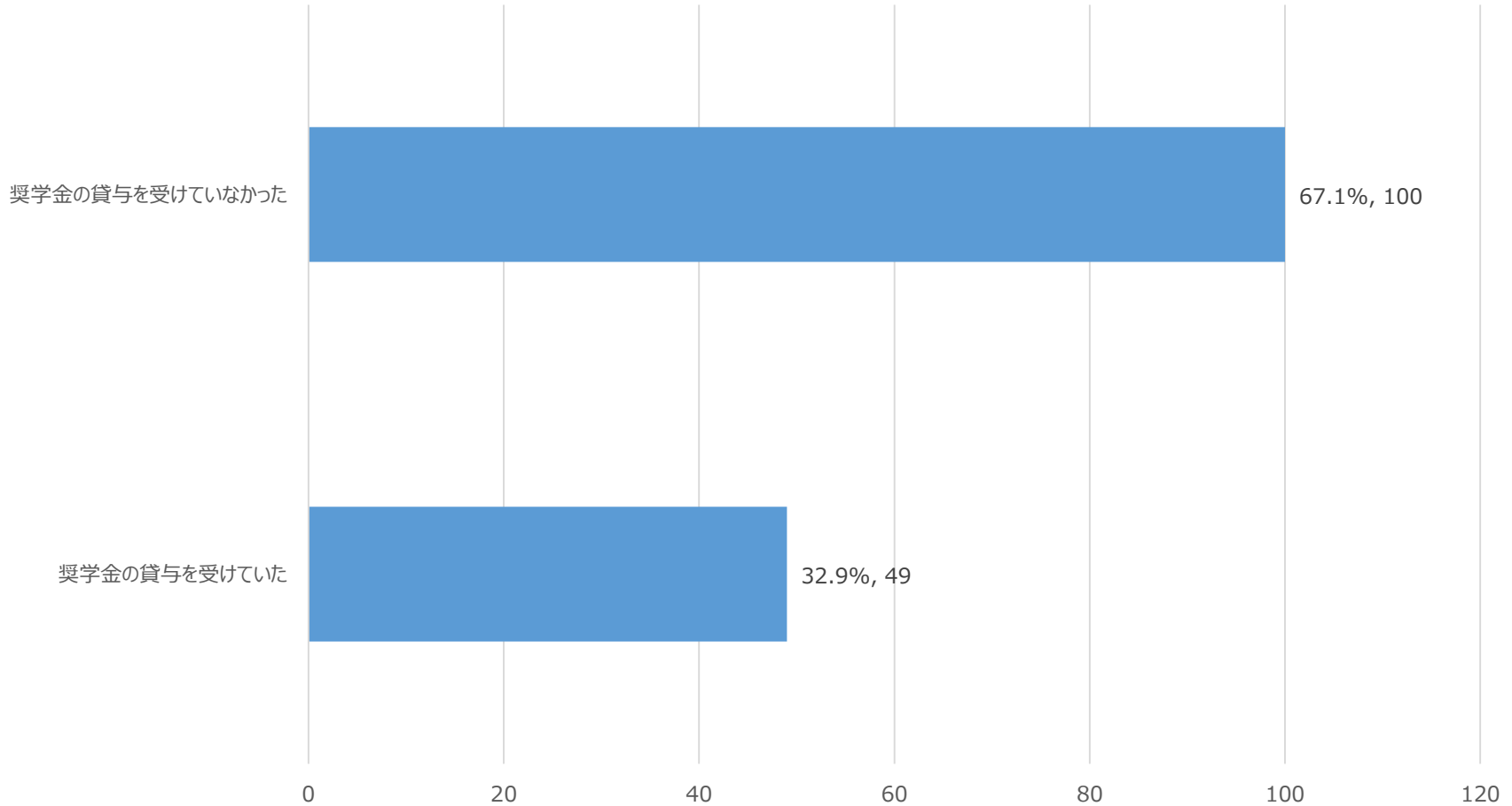
通勤時間



単位：%

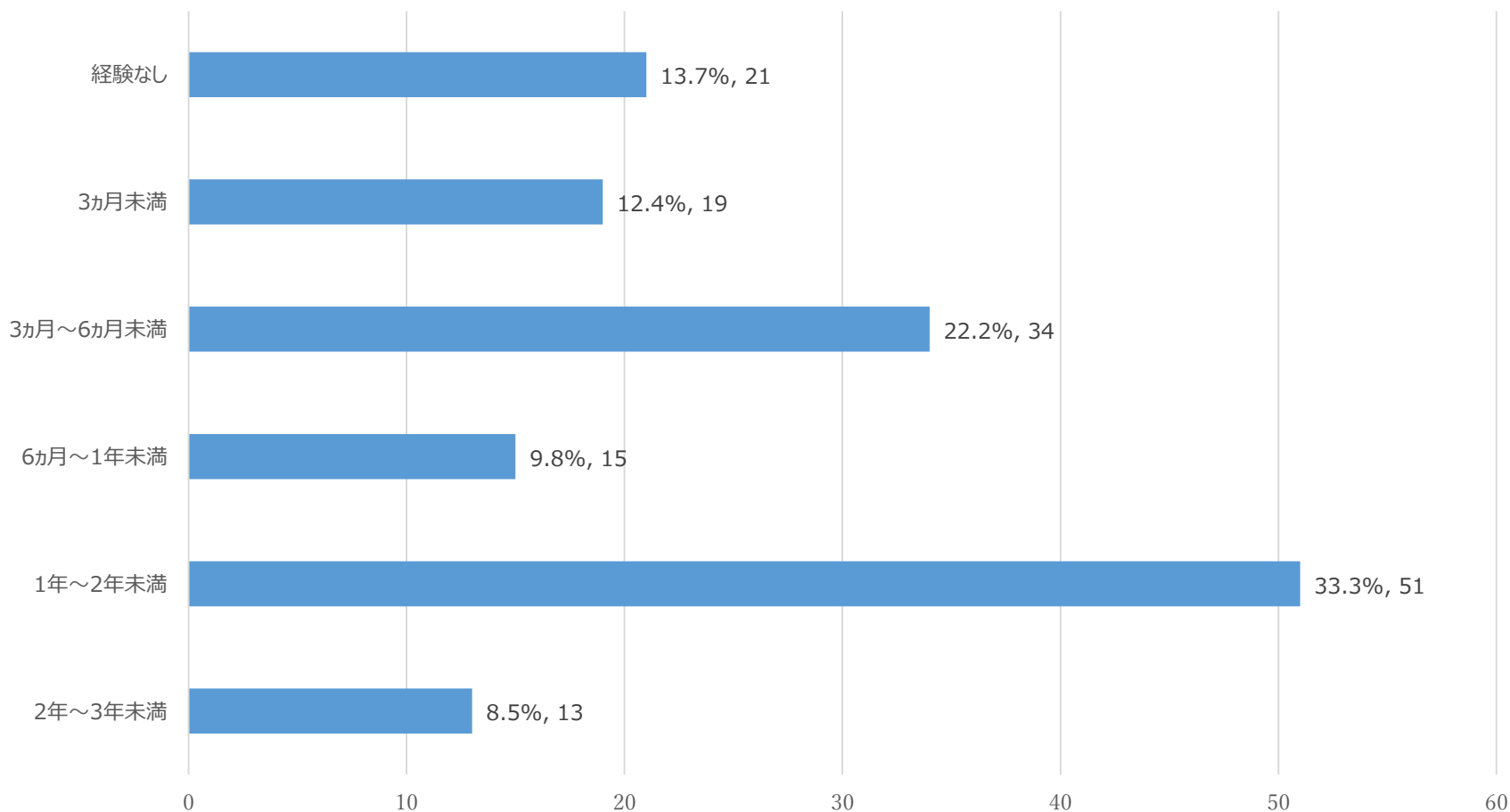
	n	10分以内	10～20分	20～30分	30～40分	40～50分	50分～1時間	1時間～1時間半	1時間半～2時間	2時間～2時間半	3時間以内
総計	145	15.9	20.0	16.6	4.8	5.5	9.7	14.5	10.3	2.1	0.7
実家暮らしでない	93	23.7	28.0	24.7	6.5	5.4	4.3	5.4	2.2	0.0	0.0
実家暮らしである	52	1.9	5.8	1.9	1.9	5.8	19.2	30.8	25.0	5.8	1.9

3(1). 生活実態⑤ 奨学金返済の状況



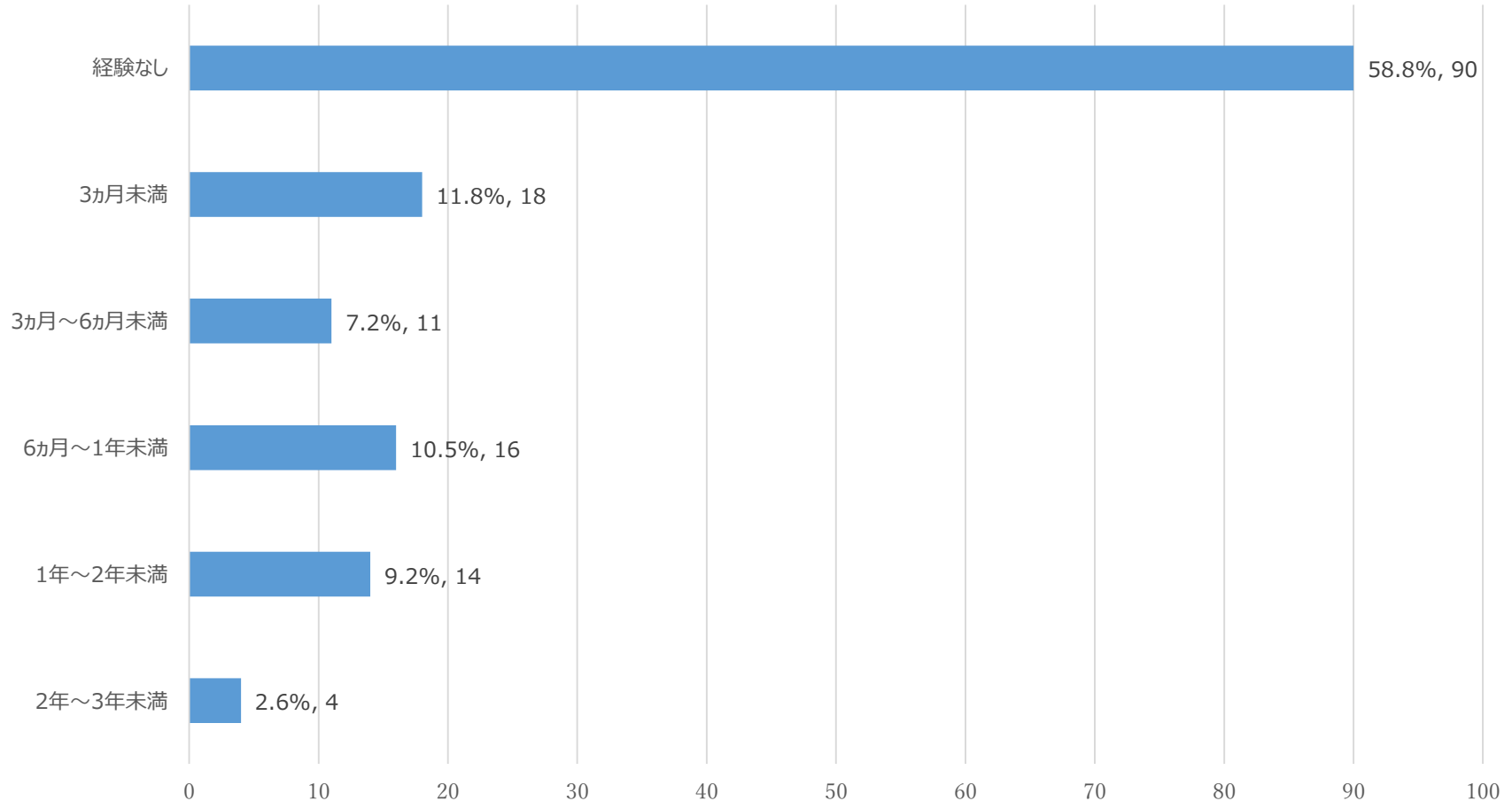
3(2). 労働条件とキャリア①

担当したことのある工程：動画



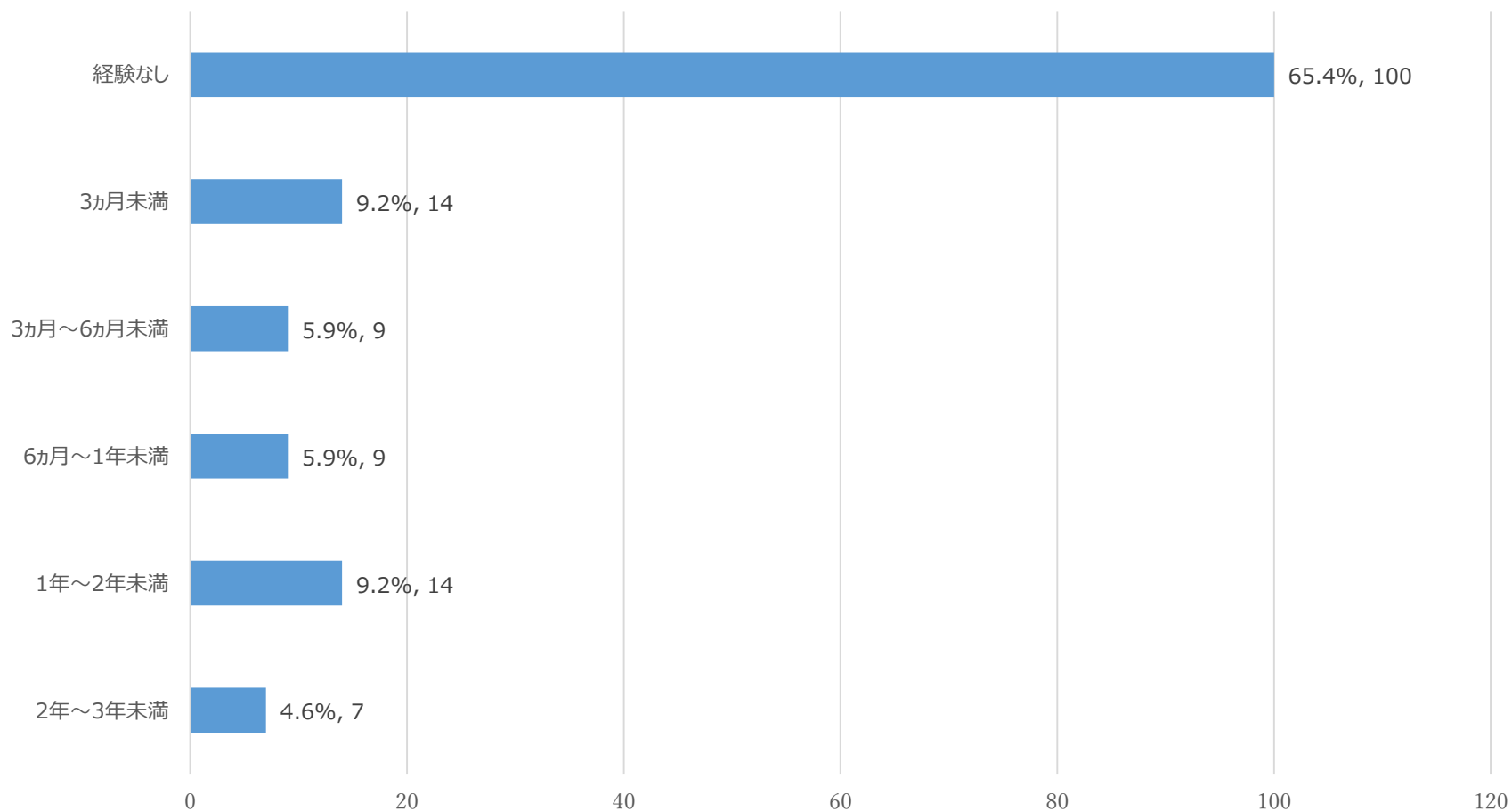
3(2). 労働条件とキャリア①

経験したことのある工程：第二原画



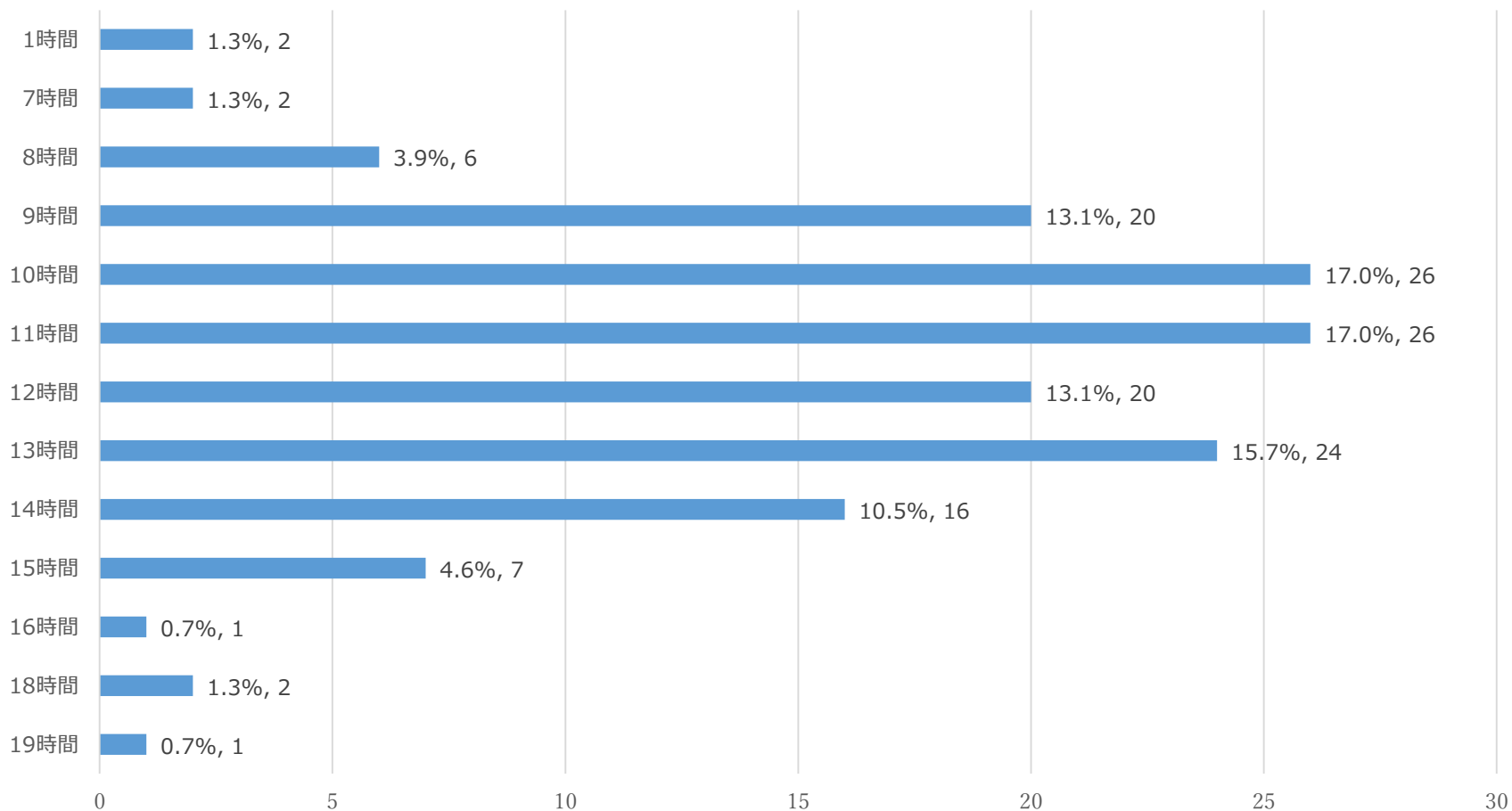
3(2). 労働条件とキャリア①

担当したことのある工程：原画



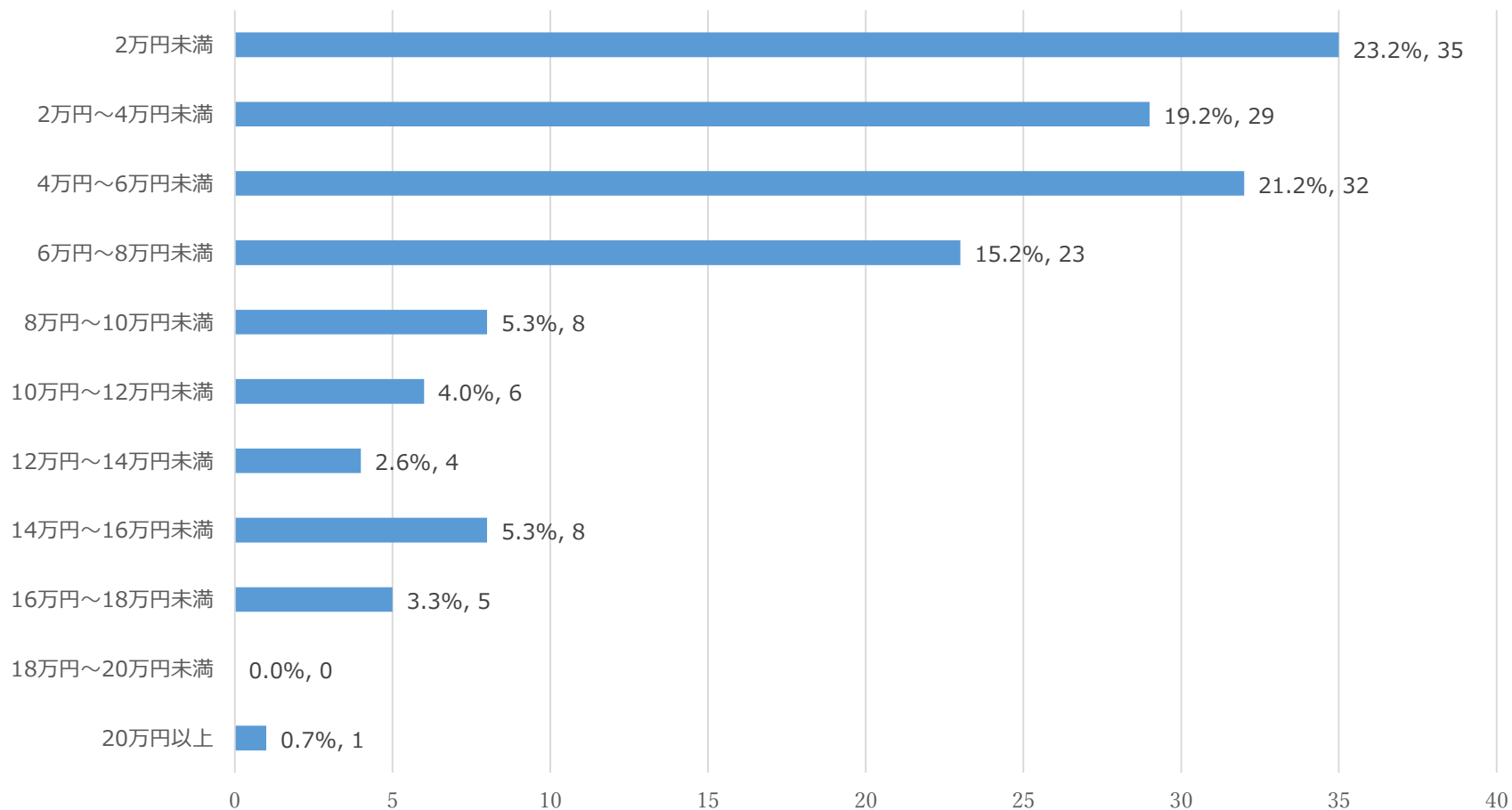
3(2). 労働条件とキャリア②

労働時間



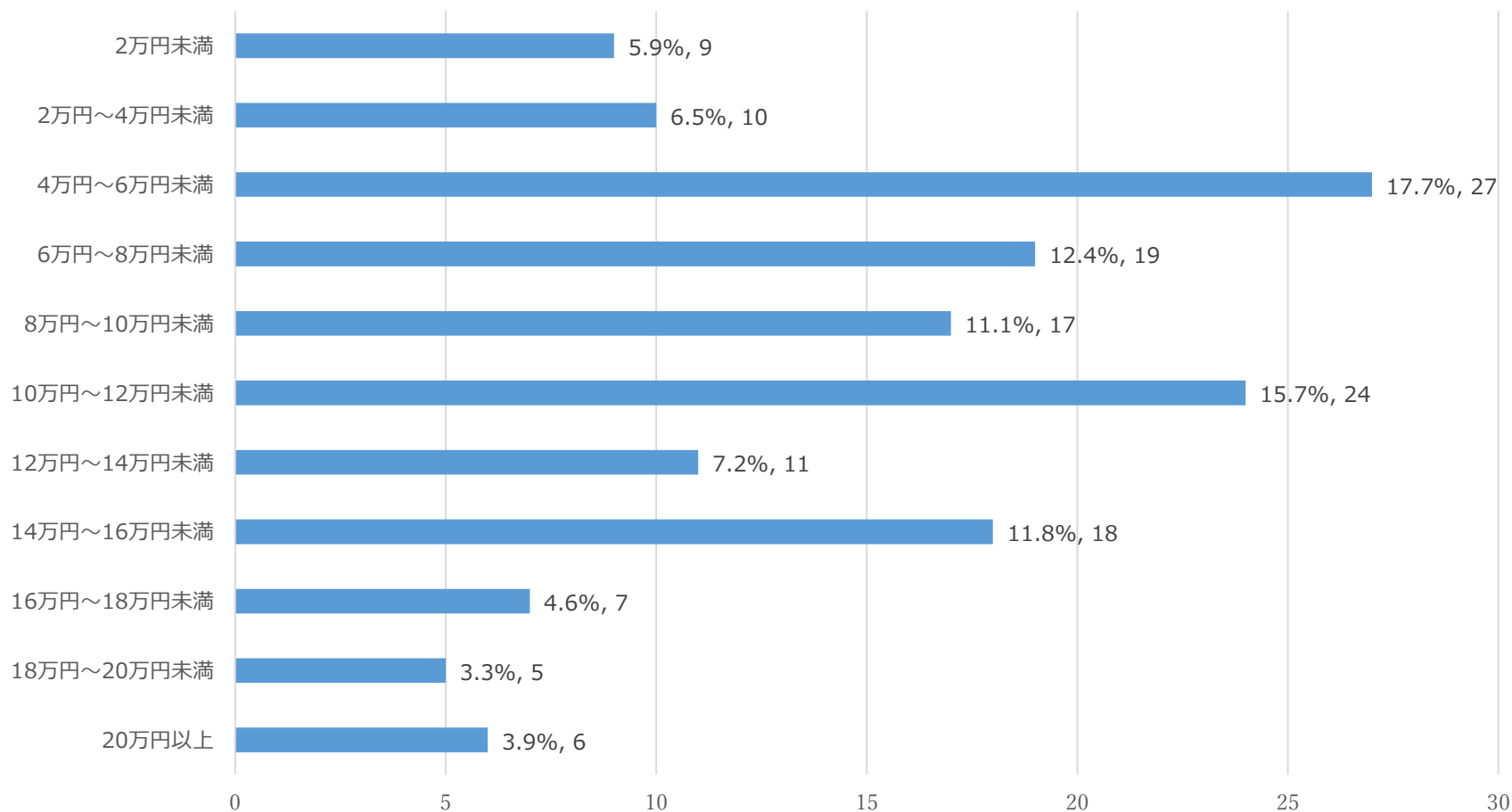
3(4). 労働時間とキャリア③

収入：初任給



3(4). 労働条件とキャリア③

収入: 3カ月間の平均月給



3(2). 労働条件とキャリア④

経験年数・給与形態・地域ごとの月収

単位：％

	n	2万円未満	2万円～4万円未満	4万円～6万円未満	6万円～8万円未満	8万円～10万円未満	10万円～12万円未満	12万円～14万円未満	14万円～16万円未満	16万円～18万円未満	18万円～20万円未満	20万円以上
総計	153	5.9	6.5	17.7	12.4	11.1	15.7	7.2	11.8	4.6	3.3	3.9
1年目	62	11.3	14.5	19.4	16.1	8.1	8.1	4.8	8.1	4.8	1.6	3.2
2年目	54	1.9	1.9	22.2	11.1	13.0	18.5	11.1	13.0	1.9	1.9	3.7
3年目	37	2.7	0.0	8.1	8.1	13.5	24.3	5.4	16.2	8.1	8.1	5.4

単位：％

	n	2万円未満	2万円～4万円未満	4万円～6万円未満	6万円～8万円未満	8万円～10万円未満	10万円～12万円未満	12万円～14万円未満	14万円～16万円未満	16万円～18万円未満	18万円～20万円未満	20万円以上
総計	151	5.9	6.5	17.7	12.4	11.1	15.7	7.2	11.8	4.6	3.3	3.9
完全出来高	71	9.9	12.7	28.2	8.5	11.3	12.7	4.2	8.5	1.4	2.8	0.0
固定給＋出来高	59	3.4	1.7	8.5	20.3	15.3	20.3	10.2	10.2	3.4	1.7	5.1
固定給	20	0.0	0.0	10.0	5.0	0.0	10.0	5.0	25.0	20.0	10.0	15.0
時給	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

単位：％

	n	2万円未満	2万円～4万円未満	4万円～6万円未満	6万円～8万円未満	8万円～10万円未満	10万円～12万円未満	12万円～14万円未満	14万円～16万円未満	16万円～18万円未満	18万円～20万円未満	20万円以上
総計	153	5.9	6.5	17.7	12.4	11.1	15.7	7.2	11.8	4.6	3.3	3.9
東京都	98	1.0	6.1	12.2	15.3	11.2	19.4	6.1	14.3	6.1	3.1	5.1
東京都以外の関東	19	5.3	0.0	26.3	5.3	5.3	10.5	10.5	15.8	5.3	10.5	5.3
関西（京都・大阪・兵庫）	15	33.3	6.7	20.0	0.0	13.3	20.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0
その他	21	9.5	14.3	33.3	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0

4. インタビュー調査からの示唆 フリーランス労働における「休日」

- フリーランス的な働き方をしつつ組織の中で働いているため、企業が定めた休日と、実際に仕事をしない日（自主的な休みやその日に行う仕事がないなど）が混在する。
- この点はアニメーション産業に限らず、フリーランス的な働き方を測定する枠組みが社会的に十分に整備されていないことと関わっている。今回のような調査を、適宜改定しつつ、継続的に行っていくことが必要である。

5. 若年層アニメーターの現状 不安定な立場

- 雇用形態に関して、回答者の92.8%が非正社員であり、73.8%が労働基準法適用外の個人事業主
- 作業量が収入に比例する不安定な立場である。

5. 若年層アニメーターの現状 低収入状態

- 初任給に関して、回答者の84.1%が10万円以下
- 労働時間に関しては月換算では88.2%が労働時間200時間以上
- 兼業している者はわずか5%
- →若年層アニメーターはフルタイムで本業に従事しながらも十分な収入を得られていない「低収入状態」である

5. 若年層アニメーターの現状 経済的援助・貯金による補填

- 回答者の60%が「実家暮らし」による家賃負担軽減や「仕送り」といった家族からの経済的な援助を受けて
- 実家暮らしではない者のうち58%は生活のために貯金を切り崩している
- 「若年層アニメーター収入モデル」
- 総収入 = 単価 × 作業量 + (固定給) + (仕送り) + (切り崩した貯金) + (副業の収入)
- 黒字 = {単価 × 作業量 + (固定給) + (仕送り) + (切り崩した貯金) + (副業の収入)}
- - {経費 + (家賃) + (その他生活費) + (奨学金の返済)}